

# 秋号 おおた文化の森

## 2011文化の収穫祭 ～元気・笑顔で秋の祭典!～ 11月13日(日)開催

「春植えざれば秋実らず」ということわざがあるように、実りを得るためには春に種をまき、梅雨の長雨や夏場の草取りと手間ひまをかけて、繰り返し努力をなされて「実りの秋」を迎えることができます。

11月13日(日)、お待ちかねの文化の収穫祭が開催されます。

近隣、地域の皆さまに日頃のガンバリの成果が結集される発表の場としての、期待感からか、すでにたくさんの電話もいただきました。「去年は出られなかったので今年は是非参加させてください」と言う積極的なものが多く、文化の森での、文化の祭典としての位置づけや10年をかけての、皆さまの日々の努力や楽しみが、見えてくるようで嬉しくなりました。

ことしは、3月11日の東日本大震災発生で悲しい思いがまだ抜けきれない方々が大勢いらっしゃる中で、春のイベントの変更や節電対策等日常生活が、必ずしも、いままで通りではなかった方も多いかと思います。それでも、生きている力としての元気や笑顔を取り戻しての文化的な生活、いままで通りの明るい生活を続けていくための一歩、歩み続ける一歩、絆を深める一歩が必要ではないでしょうか。

「縁」は、つながろうとする意識の中で育てていかなければ「絆」になりません。元気や笑顔でいられる「縁」を探しにいらっしやいませんか。

子供からお年寄りまで、誰もが楽しめる文化の祭典「文化の収穫祭」を、参加出演、出店、出展の方々、ボランティアスタッフ、運営協議会、関係者の皆さまと、思い出の1ページとして楽しく一日をお過ごしください。心より、お待ちしております。



### 巻頭特集

## 2011文化の収穫祭 ～元気・笑顔で秋の祭典!～ 11月13日(日)開催

11月13日(日)、お待ちかねの文化の収穫祭が開催です。日頃の成果を存分に発揮していただき、盛り上げていきましょう。

## ～話題作、光る笑福亭鶴瓶の弱々しい演技～ 文化の森シネマ館「ディア・ドクター」 10月28日(金)午後7時に上映

2009年度の映画賞で、ブルーリボン賞の3冠をはじめ全14冠を獲得した話題の映画『ディア・ドクター』が10月28日(金)午後7時から文化の森のホールで上映されます。

### 読み応えのあるコラムが自慢

## 大田区の島めぐり、 4コースを歩く。

大田区には4つの島があります。平和島、昭和島、京浜島、そして城南島。東京湾に面した4つの人工島をご紹介します。

## 見直される、 昭和のくらしの知恵を

南久が原2丁目にある「昭和のくらし博物館」を訪ね、館長の小泉和子さんにお話をお聞きました。

## 今年もまた、珍獣出没!

突然に現れた珍獣。今年も狸が出ました

## 地域ネットワーク 合同「XXIX」

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

## 投稿コーナー ちよつとい話 みなさまの投稿、お待ちしております

読者の皆さまと編集部がつくく企画。暮らしの中のちよつとい話をお聞かせ下さい。

## 大田区の町工場が 舞台になった!

—— 直木賞受賞作「下町ロケット」 ——

大田区の町工場が舞台、直木賞受賞作「下町ロケット」です。



大田区在住の外国人の方から見た大田区の魅力を語ってもらいました。



文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレーヤー」の活動の案内です。

### 文化の森イベントスケジュール



今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしています。

### 文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

### 皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。暮らしの中の「ちょっといい話」(300字以内)を投稿いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-3772-0704、メールの場合は、[info@ota-bunkanomori.jp](mailto:info@ota-bunkanomori.jp) まで。

誌面でのご紹介は姓名(ペンネームでも結構)町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

### 編集後記

## 編集後記

### 申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1  
大田文化の森運営協議会まで  
電話: 03-3772-0770

FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.41Web版  
2011年10月1日発行  
発行 大田文化の森運営協議会  
編集人 池田敏夫



昨年の収穫祭の様子

2011文化の収穫祭実行委員長 太田黒 恵

～話題作、光る笑福亭鶴瓶の弱々しい演技～

## 文化の森シネマ館「ディア・ドクター」

10月28日(金)午後7時に上映

2009年度の映画賞で、ブルーリボン賞の3冠をはじめ全14冠を獲得した話題の映画『ディア・ドクター』が10月28日(金)午後7時から文化の森のホールで上映される運びとなりました。

東日本大震災の影響で延期となっていたもので、主演男優賞5冠に輝いた笑福亭鶴瓶の弱々しい演技は、この作品の言いたいことにほんとに合っていました。

物語は山間の小さな村の診療所でたったひとりの医師として働く伊野(鶴瓶)は、村人たちは「神さまさま」よりも頼られています。しかし名医のように振舞う彼は、じつは大きな嘘をついていて・・・というストーリー。共演は八千草薫、瑛太、余貴美子、香川照之など。

脇役陣もそれぞれの持ち味がにじみ出ていましたが、なによりも原案から脚本へと組み立てていったアカデミー賞監督賞を獲得した西川美和監督が繊細に過不足なく、しかもギスギスしないで描いた世界は、せつなくておもしろくてよかった。題材は地味そうに見えるし実際に地味ですが、この映画は「観てよかった」と思わせる力は、すごいものです。

ぞ〜っとしたり、大声で叫んだりする場面はひとつもない。だけど、内臓がぴくぴく動くような映画です。ちゃんと仕事をするって、いいよなあ。と、そんなことを思わせてくれました。



(C)2009『Dear Doctor』製作委員会

運営委員 池田 昭宣

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:[info@ota-bunkanomori.jp](mailto:info@ota-bunkanomori.jp)

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

# 秋号 おおた文化の森

Home

## 大田区の島めぐり、4コースを歩く。

大田区には4つの島があります。平和島、昭和島、京浜島、そして城南島。東京湾に面したエリアで、平和島の一部を除いて1965年(昭40)代後半から工場公害の解消を目的としてつくられた人工島(埋立地)ですが、全島合わせても住民370人足らずの工場群だけに人いきれはない。海辺の公園が遊びと景観を保って、憩いを求めるには絶好の場所とお見受けしました。

### 平和島

#### 娯楽施設と工場群が織りなすカオスの島

首都高速がすぐそばを走る陸続きの島だけに、入口付近の平和の森公園、平和島競艇、それに映画館やゲーム、温泉などの施設「ビッグ ファン平和島」周辺の1丁目あたりは人通りも頻繁で賑わいを見せる。が、野球場、プール、ユースセンターなどある4丁目の平和島公園を除けば環七通り沿いの北側、南側に位置する3~6丁目は各社の工場、倉庫・物流センターが立ち並んで車の行き来ばかりが目立つ。人口366人(2011年1月1日現在、以下同じ)の居住者は1~2丁目あたりが多いのではないのでしょうか。

毎年11月、区内最大規模のイベント

「OTAふれあいフェスタ」が開かれる場所としてご存知の読者も多いと思いますが、島名の“平和”の由来は戦時中、競艇場の観客スタンドあたりに連合国側の兵士を収容する「東京捕虜収容所」があり、戦後は日本の戦犯収容所となったことから“平和への祈り”が込められているとか。島の面積は約118万平方メートル。アクセスは京急線・平和島駅下車、またJR大森駅から京急バスの路線もあります。



google mapで見る

### 城南島

#### ダイナミックな海・空・緑を堪能できる公園

大田市場正門前を過ぎて数分、運河に架かった城南大橋を渡るとすぐそこが城南島の入口。7丁目目である地域内はここでも大半が工業用地で、人口も0人。ひたすら歩いて行き交う人の姿は見られず、車道のせわしさとは無関係にひとり黙々と孤独感?に。

はしゃぐ声にぶつかったのはこの島の人気スポット都立城南島海浜公園でした。“ダイナミックな海・空・緑”がキャッチコピーで、予約(03-3799-6402、同管理事務所)をすれば日帰りで野趣あふれるバーベキューができるし、宿泊キャンプもOK。人口海浜ではカニを釣っている人、それにドッグラン、スケボー広場、ピクニック園地などあり、賑わいを演出する。

#### 巻頭特集

### 2011文化の収穫祭 ～元気・笑顔で秋の祭典!～ 11月13日(日)開催

11月13日(日)、お待ちかねの文化の収穫祭が開催です。日頃の成果を存分に発揮していただき、盛り上げていきましょう。

### ～話題作、光る笑福亭鶴瓶の弱々しい演技～ 文化の森シネマ館「ディア・ドクター」 10月28日(金)午後7時に上映

2009年度の映画賞で、ブルーリボン賞の3冠をはじめ全14冠を獲得した話題の映画『ディア・ドクター』が10月28日(金)午後7時から文化の森のホールで上映されます。

#### 読み応えのあるコラムが自慢

### 大田区の島めぐり、 4コースを歩く。

大田区には4つの島があります。平和島、昭和島、京浜島、そして城南島。東京湾に面した4つの人工島をご紹介します。

### 見直される、 昭和のくらしの知恵を

南久が原2丁目にある「昭和のくらし博物館」を訪ね、館長の小泉和子さんにお話をお聞きしました。

### 今年もまた、珍獣出没!

突然に現れた珍獣。今年も狸が出ました

### 地域ネットワーク つながり

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

### 投稿コーナー ちよつとい話

読者の皆さまと編集部がつくく企画。暮らしの中のちよつとい話をお聞かせ下さい。

### 大田区の町工場が 舞台になった!

直木賞受賞作「下町ロケット」

公園の頭上には羽田空港を離着陸する飛行機が飛び交い、港を出入りする大型船も見られる。まさに海・空・緑を満喫できる場所でした。島の面積は約112万平方メートル。アクセスは東京モノレール羽田線・流通センター駅から徒歩約40分以上、JR大森駅・京急線大森海岸駅または平和島駅から京急バスの利用になります。



[google mapで見る](#)

# 昭和島

人口ゼロ、工場密集のなかに憩いの公園あり

1967年(昭和42)にできた人工島。1、2丁目で形成されていますが、地域内の多くは工業用地で鉄工所が密集しており、工業団地(羽田鉄工団地)という表示までありました。人口0人。ふだん日中歩いていてもほとんど人に出くわすこともなく、南部にある昭和島南緑道公園と隣接する大田区営昭和島運動場や広場へ行く遊歩道などで見かけるくらい。橋を渡って近所から遊びにきた子供や親子連れ、休日には野球試合(大森まちなみ課で受付)でのびのびとした空気が味わえることでしょう。北部にある昭和島北緑道公園では緑地のほかにテニス練習場やローラースケート、それにキャッチボールが

できる広さもあって開放感に浸れる気分。島の面積約62万平方メートル。地域北部の平和島とは南海橋で繋がっていて、地域東部の京浜島とは京和橋で、また地域西部の大森東とは避難橋で繋がっています。アクセスは東京モノレール羽田線・昭和島駅下車、またJR大森駅から京急バスの路線が出ていますが、朝夕の通勤時間帯を除き日中は1時間に1本程度なので要注意です。



[google mapで見る](#)

# 京浜島

間近に羽田空港、世界に羽ばたくモニュメントも

昭和島との間を流れる京浜運河。その架け橋である京和橋を渡っていくと、こちらも大半は工業用地(京浜島工業団地)。人口は2人で3丁目のみに住民がいると聞きましたが、ここには大田清掃工場と京浜島不燃ごみ処理センターといったごみ処理施設があるのでその関係者かも。1丁目地区は企業の物流センターなどが集まっています。2丁目地区の羽田空港方面の海沿いには京浜島つばさ公園と緑地広場があり、約1・2キロの遊歩道は離着陸する飛行機を眺めながら散策できるビュースポット。

大田区の町工場が舞台、直木賞受賞作「下町ロケット」です。



大田区在住の外国人の方から見た大田区の魅力を語ってもらいました。



文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレーヤー」の活動の案内です。

## 文化の森イベントスケジュール



今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

## 文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

## 皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。暮らしの中の「ちょっといい話」(300字以内)を投稿いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-3772-0704、メールの場合は、[info@ota-bunkanomori.jp](mailto:info@ota-bunkanomori.jp)まで。

誌面でのご紹介は姓名(ペンネームでも結構)町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

## 編集後記

## 編集後記

## 申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1  
大田文化の森運営協議会まで  
電話: 03-3772-0770

FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号

(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.41Web版

2011年10月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 池田敏夫

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:[info@ota-bunkanomori.jp](mailto:info@ota-bunkanomori.jp)

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

工場の裏手にある京浜島緑道公園は水辺に近く、水面にカモなどが漂い、釣り人の姿も。島内で働く人々の休憩などに利用されている京浜島ふ頭公園には「世界にはばたく京浜島」をイメージしたモニュメントがあり、印象的でした。島の面積は約104万平方メートル。アクセスは東京モノレール羽田線・昭和島駅から徒歩約25分程度、JR大森駅・京急線大森海岸駅または平和島駅から京急バスの利用になります。



[google mapで見る](#)

# 秋号 おおた文化の森

Home

## 見直される、昭和のくらしの知恵を

昭和のくらし博物館館長小泉和子さんに聞く

東日本大震災をきっかけに、いま昭和のくらしが見直されています。そこで、南久が原2丁目にある「昭和のくらし博物館」を訪ね、館長の小泉和子さんにお話をお聞きました。「昭和のくらしには、ものを大切に作る良い意味の節約と創意工夫が日常生活に溶け込んでいました。たとえば、エアコンなんていう魔法のようなものはありませんでした。夏は暑い、冬は寒い、そう納得して季節感を味わっていたような気がします。勿論、暑さや寒さに対応すべきことは行っていました。夏の打ち水や、季節ごとに建具やしつらい、着る物を変えるなどで



間違っていけないのは、昭和のくらしが今とくらべて便利でも快適でもなかったけれど、季節ごとにさまざまな工夫も含め、もっと違うところに豊かさを見いだしたことです。特に、四季を通じての昭和の家事にそれを見いだすことができます。現在は家事の省力化が急速に進み、家事に費やした時間、特に女性たちは自由になり、社会進出も進展しました。しかし、家事にはこれとは別の面である人を教育し、育てる力を持っています。現在の人々がこれに気づけなかった、あるいは無視してきたのは大きな間違いだと思います。とって今、昔のままの家事をしろということではありません。家事の持つ教育力や創造力について再考する必要がありますのではないのでしょうか。」

平成の私たちのこれからの暮らしを豊かに送るためにも、昭和のくらしの知恵が必要となってくるのではないだろうか。



\*なお、昭和のくらしと家事をまとめ、映像にしたDVD記録映画「昭和の家事」が小泉さんにより製作されました。

昭和のくらし博物館

<http://www.showanokurashi.com/>



小泉和子(こいずみかずこ)

1933年、東京生まれ。昭和のくらし博物館館長、生活史研究所主宰、室内史学会会長。工学博士。『道具が語る生活史』(朝日選書)など著書多数。元京都女子大学教授。

運営委員 奥田 和子

### 巻頭特集

2011文化の収穫祭  
～元気・笑顔で秋の祭典!～  
11月13日(日)開催

11月13日(日)、お待ちかねの文化の収穫祭が開催です。日頃の成果を存分に発揮していただき、盛り上げていきましょう。

～話題作、光る笑福亭鶴瓶の弱々しい演技～  
文化の森シネマ館「ディア・ドクター」  
10月28日(金)午後7時に上映

2009年度の映画賞で、ブルーリボン賞の3冠をはじめ全14冠を獲得した話題の映画『ディア・ドクター』が10月28日(金)午後7時から文化の森のホールで上映されます。

### 読み応えのあるコラムが自慢

## 大田区の島めぐり、4コースを歩く。

大田区には4つの島があります。平和島、昭和島、京浜島、そして城南島。東京湾に面した4つの人工島をご紹介します。

## 見直される、昭和のくらしの知恵を

南久が原2丁目にある「昭和のくらし博物館」を訪ね、館長の小泉和子さんにお話をお聞きました。

## 今年もまた、珍獣出没!

突然に現れた珍獣。今年も狸が出ました



日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。



読者の皆さまと編集部がつくく企画。暮らしの中のちょっといい話をお聞かせ下さい。

## 今年もまた、珍獣出没!

突然に現れた珍獣。写真撮影した画像を専門家に鑑定してもらったところ狸に間違いはないと言われた。多分、4匹の兄弟の子狸。(写真は3匹)

昨年8月下旬から10月上旬にかけて、毎日のように我が家の敷地内に現れ、ドッグフードを

## 大田区の町工場が舞台になった!

直木賞受賞作「下町ロケット」

寄ってたかってバリバリと食べ、庭で遊びまわり、鉢物をひっくり返すやら土を掘り返すなど、庭は大変な状況になってしまった。そんな話を同級生から聞きつけた。

場所は、沼部駅近くの六郷用水付近の1戸建てである。どうやら二子玉川周辺に生息していた狸が、都市開発の影響を受け多摩川土手が終電後の線路をつたってやって来たのではないと思われる。今年も8月中旬ごろから現れているが、昨年とは別の狸らしい。田園調布・嶺町地域では狸以外にも白鼻心(ハクビシン)を目撃者している人がいた。白鼻心は、狸と違い、目撃者が大勢いる。

私もつい先日、夜道を歩いていると2匹の白鼻心が道を横切った姿を目にした。白鼻心の出没情報は狸と違い、屋根裏に巣を作り生活、毎日日課のように2匹の白鼻心がベランダの前を横切っているとか、おそらく、多くの白鼻心がこの地域に暮らし、その目撃情報は、徐々に拡大化している様子である。

狸と白鼻心の違いは、当然の事ながら鼻に白い筋があるのが白鼻心であり、尻尾については、白鼻心の方がかなり長い。

いつか近いうちに狸か白鼻心と遭遇した時は尻尾に注意して、どちらの珍獣か確かめてみてください。そして、シャッター！！ 出くわしたらラッキー？かも。



三匹の狸



右：ハクビシンの尻尾 / 左：狸の尻尾

運営委員 熊倉 まえ子

大田区の町工場が舞台、直木賞受賞作「下町ロケット」です。



大田区在住の外国人の方から見た大田区の魅力を語ってもらいました。



文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレーヤー」の活動の案内です。

## 文化の森イベントスケジュール



今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

## 文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

## 皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。暮らしの中の「ちょっといい話」(300字以内)を掲載いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-3772-0704、メールの場合は、[info@ota-bunkanomori.jp](mailto:info@ota-bunkanomori.jp)まで。

誌面でのご紹介は姓名(ペンネームでも結構)町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

## 編集後記

## 編集後記

## 申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1  
大田文化の森運営協議会まで  
電話：03-3772-0770  
FAX：03-3772-0704

■ 往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号 (FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.41Web版  
2011年10月1日発行  
発行 大田文化の森運営協議会  
編集人 池田敏夫



Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:[info@ota-bunkanomori.jp](mailto:info@ota-bunkanomori.jp)

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

# 秋号 おおた文化の森

Home

## 地域ネットワーク

### 大森東地区の“いま”

大森東地区には五つの自治会があり、「いつつのわ」を合言葉に日頃から相互に協力し合っ、住みよいまちづくりに努めています。

わたしたちのまちを「安心でふれあいのあるまち」とするために、大森東地区が取り組んでいる“いま”についてご紹介致します。

昨年度より開始されている大森東避難橋耐震整備工事がいよいよ今年度中に完成する予定です。この避難橋は、災害時避難場所である昭和島へ当地区から繋ぐ橋であると共に、通勤・通学



交通公園完成イメージ図

路として日常生活に欠かせないものとなっています。この工事により、橋には展望スペースが2ヶ所設けられるなど、人々の憩いの場所となる予定です。また、本年11月3日に大森東特別出張所隣地に交通公園がオープンします。当地区自治会連合会では、これを祝してオープニングセレモニーを行うとともに「いつつのわ ふれあい祭り」を開催致します。このお祭りは、五つの自治会が中心となり地域の方々や団体と協力しながら開催するもので、地域の連帯感や結束力を高めていくことを大きな目的のひとつとしています。また、今後は当地区の目玉行事として毎年継続していく予定です。

当日は、当地区に古くからあった海苔の養殖を始めとする昭和初期から中期のまちなみの写真展示や、大田のものづくり技術を紹介するブースから、模擬店やミニトレインなどのコーナーまで多くの催しを予定しており、どなたでも楽しめるお祭りになっています。皆様お誘い合わせの上、是非ともご来場ください。

大森東地区自治会連合会会長 鳴島 繁藏

### 3区に隣接する大岡山をお忘れなく！

大岡山駅周辺は目黒区、品川区、世田谷区に隣接する。なんとも複雑な地域ですが、大田区の隅っこであることは確かです。駅を降りると目の前に大きくそびえ立つ建物が東京工業大学。大学敷地は大田区と目黒区の区境を持ち、大学脇の道は世田谷区との区境でもある。

大岡山北口商店街は全長450mの線状型にあり、その商店街の道とわずか100mほど離れた平行線の道は目黒区の商店街であり、駅ロータリー前の目黒区には大型スーパーもあるので、より活気のある商店街として対応するしかありません。

全体としての商業密度は高く、近隣のお客様から慕われ、多くの店では顔なじみの顧客を有し、心のふれあいが日常の中で行われる。大型店には無い、親切できめ細やかなサービスに心がけ、親しみのある商店街として、お年寄りや若い消費者層にも気さくに挨拶が出来る人気商店が沢山あります。

当商店街は単に物を売るだけではありません。大田区には217の町会・自治会、151の商店街があるそうですが、駅前広場にて開催される3月の大岡山さくらまつり、8月の納涼盆踊り大会、9月の千束八幡様おまつり、10月の大岡山フェスティバルなどにも積極的に参加、イベントを通じて地域住民の方々とのふれあいを大事にしなが、より良い街づくりに取り組んでいます。

皆様のお越しを、お待ちしております。

### 巻頭特集

2011文化の収穫祭  
～元気・笑顔で秋の祭典!～  
11月13日(日)開催

11月13日(日)、お待ちかねの文化の収穫祭が開催です。日頃の成果を存分に発揮していただき、盛り上げていきましょう。

～話題作、光る笑福亭鶴瓶の弱々しい演技～  
文化の森シネマ館「ディア・ドクター」  
10月28日(金)午後7時に上映

2009年度の映画賞で、ブルーリボン賞の3冠をはじめ全14冠を獲得した話題の映画『ディア・ドクター』が10月28日(金)午後7時から文化の森のホールで上映されます。

### 読み応えのあるコラムが自慢

#### 大田区の島めぐり、4コースを歩く。

大田区には4つの島があります。平和島、昭和島、京浜島、そして城南島。東京湾に面した4つの人工島をご紹介します。

#### 見直される、昭和のくらしの知恵を

南久が原2丁目にある「昭和のくらし博物館」を訪ね、館長の小泉和子さんにお話をお聞きしました。

#### 今年もまた、珍獣出没!

突然に現れた珍獣。今年も狸が出ました

#### 地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

#### 投稿コーナー ちよつとい話

読者の皆さまと編集部がつくく企画。暮らしの中のちよつとい話をお聞かせ下さい。

#### 大田区の町工場が 舞台になった!

直木賞受賞作「下町ロケット」



子ども神輿

大岡山北口商店街組合理事長 相川英昭

大田区の町工場が舞台、直木賞受賞作「下町ロケット」です。



大田区在住の外国人の方から見た大田区の魅力を語ってもらいました。



文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレーヤー」の活動の案内です。

## 文化の森イベントスケジュール



今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしています。

## 文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

## 皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部と一緒に作る誌面です。暮らしの中の「ちょっといい話」(300字以内)を掲載いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-3772-0704、メールの場合は、[info@ota-bunkanomori.jp](mailto:info@ota-bunkanomori.jp)まで。

誌面でのご紹介は姓名(ペンネームでも結構)町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

## 編集後記

## 編集後記

## 申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1  
大田文化の森運営協議会まで  
電話: 03-3772-0770  
FAX: 03-3772-0704

■ 往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.41Web版  
2011年10月1日発行  
発行 大田文化の森運営協議会  
編集人 池田敏夫

# 投稿コーナー ちよつとい話

みなさまの投稿、お待ちしております

## ■ 少年の発言に、どっきり!

上池上循環バス。馬込方面から来て大森駅で降車する客のなかに「ありがとうございます」と毎度、運転手に大声で礼を言う少年がいる。その声を聞いて、数人の大人も照れくさそうに「有難う」とつぶやく。かく言う私もそのひとりだが、素直な気持ちを口に出すのは難しい。ましてや大勢のなかでは、びびるのが当たり前? その少年(小学4年ぐらい)に恥ずかしながら「えらいねえ」と声をかけたら、「おじさん、震災に遭った子供たちだって元気で挨拶しているでしょ」ときた。

親に教わるよりも、しっかりテレビからもいい話を吸収しているんだ。面目ない。こちらは、いまはやりのバラエティー番組などに毒されて向上心とやらを失いかけているオジサンですから。

東馬込2丁目 会社員・戸塚茂(61)

このコーナーは読者のみなさまと編集部と一緒に作る誌面です。暮らしの中の「ちょっといい話」(300字以内)の投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会投稿係宛、FAXの場合は03-3772-0704、メールの場合は[info@ota-bunkanomori.jp](mailto:info@ota-bunkanomori.jp)まで。誌面でのご紹介は姓名(ペンネームでも結構)年齢、在地名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:[info@ota-bunkanomori.jp](mailto:info@ota-bunkanomori.jp)

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

# 秋号 おおた文化の森

## 大田区の町工場が舞台になった!

直木賞受賞作「下町ロケット」

機械やロボットが太刀打ちできないものに、職人が命をかける「勘」「コツ」「手間ひま」の存在があります。それらは継承され洗練される時、その技術が地域独自の職人文化として開花しています。

大田区は「ものづくり」の街として世界的にも有名で、職人魂や、真似できない技術に挑み続ける地域でもあります。第145回直木賞受賞作「下町ロケット」は池井戸潤さんの力作。そのさわやかな笑顔が印象的な、素敵な方に会ってきました。

「種子島宇宙センター」のロケット発射シーンから始まる物語は、大田区の小さな町工場が舞台で、宇宙ロケット用の小さな部品の特許を持っていたために起こる様々なビジネストラブルを描く。資金調達や法廷闘争、さらに後継者問題を含

めて、現在の日本の、世知辛い世の中をテンポのある転換でどきどきさせて、ハラハラとなり、ワクワクしてきて、感動の涙が頬を伝うものでした。読んだあとのスッキリ感や、世の中を浮き彫りにした文筆のうまさに酔えるほどで一気に読んでいました。

「人間の本性が表れるのは、平時ではなく追い詰められた時である」「いったん保身に立った人間が、いかに頑なで自分勝手か」、何度となく裏切られ試行錯誤をくり返ししながら、自分の夢を追い続ける主人公佃航平の姿や様々な人間模様生きるパワーを頂きました。中原街道、池上、五反田、蒲田、上池台。「大田区は坂道が多い。上り、曲がり、また下る。なんだか俺の人生みたいだな…」という、身近に感じる地域性も想像をかきたてるものでした。池井戸潤さんにお目に掛かったのは、大田区PIOのイベント会場でした。「お待たせしました」気さくな対応とサインの間に半紙を挟むほどの繊細な心遣いのかたでした。「大変な時代、読んで頑張ろうと思ってくれたら」贈呈式で作品に込めた思いをそう語っていらっしゃいますが、「僕の小説はサラリーマンばかり出てきて、場面も会社、飲み屋、家庭、会社、飲み屋、家庭ばかり。でも読者には等身大の人物が活躍する群像劇なんだと思う。大変な時期で夢や希望が持てないなか、本を読んで、もう少し頑張ってみようと思ってもらえたら本当にうれしい」。ミステリー作家としてデビュー、企業小説「空飛ぶタイヤ」が直木賞候補に、今作は「鉄の骨」に続く3作目での受賞でした。



池井戸潤

運営委員 太田黒 恵

### 巻頭特集

2011文化の収穫祭  
～元気・笑顔で秋の祭典!～  
11月13日(日)開催

11月13日(日)、お待ちかねの文化の収穫祭が開催です。日頃の成果を存分に発揮していただき、盛り上げていきましょう。

～話題作、光る笑福亭鶴瓶の弱々しい演技～  
文化の森シネマ館「ディア・ドクター」  
10月28日(金)午後7時に上映

2009年度の映画賞で、ブルーリボン賞の3冠をはじめ全14冠を獲得した話題の映画『ディア・ドクター』が10月28日(金)午後7時から文化の森のホールで上映されます。

### 読み応えのあるコラムが自慢

## 大田区の島めぐり、4コースを歩く。

大田区には4つの島があります。平和島、昭和島、京浜島、そして城南島。東京湾に面した4つの人工島をご紹介します。

## 見直される、昭和のくらしの知恵を

南久が原2丁目にある「昭和のくらし博物館」を訪ね、館長の小泉和子さんにお話をお聞きしました。

## 今年もまた、珍獣出没!

突然に現れた珍獣。今年も狸が出ました

## 地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

## 投稿コーナー ちよつとい話

読者の皆さまと編集部がつくく企画。暮らしの中のちよつとい話をお聞かせ下さい。

## 大田区の町工場が舞台になった!

直木賞受賞作「下町ロケット」

在住外国人の

# 大田区大好き!

在住20年、昔はきれいな町だった  
徐 鎮鳳(じょちんほうさん 53歳)大田区中央4丁目

トランクひとつ持って中国の上海から日本にきて以来、もう20年になりました。親戚の人を頼って山王にあったお店で働いてからずっと大田区暮らし。いまの店(本場上海料理「華鳳」)を経営して9年目になりますが、初めて住んで印象に残っているのはきれいな町だなあ、という思いでした。ほこりひとつない、生活するにも便利で、乗り物でも譲り合う心がありました。お客さんのご要望に応えるために店も年中無休にしたので出歩く機会はあまりありませんが、近くに池上本門寺や春日神社もあって和む場所があり、また春には馬込文士村大桜まつりで花見を楽しむ人たちがいて、明るいですね、ここあたりは。



お店の前で、ご本人

でも最近、ほこりのない町とは言えません(笑)自転車泥棒も多いと聞きますが、まあ仕方ないと思うしかありません。お客さんの話を聞いていると東日本大震災のことで、羽田空港のことで大田区が国際都市化を目指しているのに「ときどき蒲田駅に電車が止まらないのは不便だし、おかしい」といった話が出ますが、私の場合耳から入る情報が毎日の糧といえます。それにしても震災などの遭遇にあっても、日本人は我慢づよいと思います。国の力、がもっとつよいといいですね。(談)

大田区の町工場が舞台、直木賞受賞作「下町ロケット」です。



大田区在住の外国人の方から見た大田区の魅力を語ってもらいました。



文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレーヤー」の活動の案内です。

## 文化の森イベントスケジュール



今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

## 文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

## 皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。暮らしの中の「ちょっといい話」(300字以内)を掲載いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-3772-0704、メールの場合は、[info@ota-bunkanomori.jp](mailto:info@ota-bunkanomori.jp)まで。

誌面でのご紹介は姓名(ペンネームでも結構)町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

## 編集後記

## 編集後記

## 申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1  
大田文化の森運営協議会まで  
電話: 03-3772-0770

FAX: 03-3772-0704

■ 往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.41Web版  
2011年10月1日発行  
発行 大田文化の森運営協議会  
編集人 池田敏夫

# 元気印 文化プレーヤー

継続は力なり —— 大好きな言葉である。

何事にもチャレンジし、それに向かって進んでいくことが大事ではないかと思う。

文化プレーヤーになって7年すぎた。きっかけは、男の料理教室で楽しんでた時に、サロン交流会で手伝っていただきたい、と声がかかり早速文化プレーヤーに。色々な方々との交流があり、2年後には運営協議会委員に入ることができた。大田区の人達にもっと大田文化の森を知ってもらおうと、努力してきました。5年前、“文化箏講座”という公募があり、実際にサロン交流会で弾いていた、86センチの小さなお箏で奏でる音色に魅了され、好奇心の強い私は早速公募し、文化箏クラブ「桜の会」を立ち上げた。初めて弾いた「さくら」に喜びを感じ、大田区音楽祭・芸術フェスティバルで演奏し、今では、文化箏フェスティバル(全国大会)にも出演できるようになった。

現在、子ども若者たちの実行委員会の実行委員長として、皆さんの力をお借りして“未来にはばたく子供たちに感動の世界を！”をスローガンに企画を考え、実行しております。

これからは、文化プレーヤーとして、プレーヤー同士の横の連携をとりつつ、文化の森で楽しくボランティア活動ができるように活動してまいりたい。



大田文化の森  
サロン交流会

2011.4



文化プレーヤー 小川 滋也

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:[info@ota-bunkanomori.jp](mailto:info@ota-bunkanomori.jp)

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

# 秋号 おおた文化の森

Home

## 文化の森 イベント情報 何でもあり

**楽しいイベントが一杯!** ホール、多目的室、広場等で行われるイベント

### ■2011文化の収穫祭 ～元気・笑顔で秋の祭典!～

秋の全館イベント。“元気と笑顔”が合言葉。例年通り、ホールでは多彩なパフォーマンス、集会棟では様々な企画・作品展示・模擬店など、広場では歌にダンス・縁日と、子どもから大人まで楽しめるイベントが満載!

□開催日時:11月13日(日)10:00～16:00

□申込:当日会場へ(要事前申込の企画も有)

※詳細はお問い合わせ下さい。

### ■みんなで楽しむ思い出コンサート ～心ときめく歌と朗読～

会場の皆さんも一緒に参加し、心がなごむひとときを過ごす。

第一部:朗読と、ご一緒に歌う懐かしの歌。第二部:声楽家によるワンポイントレッスンとコーラス、出演者と会場全体での大合唱。

□開催日時:11月23日(水)14:00～16:00 □会場:大田文化の森ホール □対象:小学生

以上ならどなたでも □参加費:500円 □定員:抽選で200名 □申込:11月9日(水)必着

### ■2011大田区民謡ライブ ～若手最高峰の宴～

若手民謡歌手の椿元一と木津かおり、それに津軽三味線・尺八横笛・舞踊・太鼓奏者らによる全国の民謡ライブ。お楽しみください。

□開催日時:12月3日(土)13:00開場、13:30開演 □会場:大田文化の森ホール □参加

費:1500円(全席自由) □定員:230名 □申込:10月3日(月)10:00～大田文化の森1F受

付にて、10月4日(火)10:00～アプリコ・プラザにてチケット販売 「はがき」による申込は定

員:抽選で40名、往復はがき(1通4名まで可)で、11月21日(月)必着

#### 申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

## 体験してみよう! 日頃なかなか体験できない貴重なイベント

### ■季節のアート ～年賀状とX'mas リース～

手描きの年賀状を頂くと嬉しいですね。アートな年賀状を描きましょう! 色彩豊かな新聞広告でリースも作りましょう。

□開催日時:10月19・26日、11月2日(各水)13:30～15:30 □会場:3階美術室 □対象:どなた

でも □参加費:3000円(全3回分。材料費3回分1500円込) □定員:抽選で20名 □申込:10

月5日(水)必着

### ■しゅぼしゅぼ&もつとしゅぼしゅぼ

真空とはどんな状態か、どうしたら真空になるのか、真空状態ではどうなるのか等を探る親子の実験講座。

□開催日時:10月29日(土)9:30～11:30 □会場:3階美術室 □対象:小学生の親子 □参加

費:1組300円 □定員:抽選で15組 □申込:10月17日(月)必着

### ■クリスマス用のリース作り講習会 ～ハーブを使ってオリジナルリースを楽しもう!!～

ハーブの材料などを使って、オリジナルなリースを子供から大人までが参加して作る。講師は都内外で活躍中の大田区在住ハーブ薬膳研究家・草香もえ氏。保育有(事前申込制)。

□開催日時:12月4日(日)13:30～16:00 □会場:3階工芸室 □対象:小学生以上 □参加費:

#### 巻頭特集

### 2011文化の収穫祭 ～元気・笑顔で秋の祭典!～ 11月13日(日)開催

11月13日(日)、お待ちかねの文化の収穫祭が開催です。日頃の成果を存分に発揮していただき、盛り上げていきましょう。

### ～話題作、光る笑福亭鶴瓶の弱々しい演技～ 文化の森シネマ館「ディア・ドクター」 10月28日(金)午後7時に上映

2009年度の映画賞で、ブルーリボン賞の3冠をはじめ全14冠を獲得した話題の映画『ディア・ドクター』が10月28日(金)午後7時から文化の森のホールで上映されます。

#### 読み応えのあるコラムが自慢

### 大田区の島めぐり、 4コースを歩く。

大田区には4つの島があります。平和島、昭和島、京浜島、そして城南島。東京湾に面した4つの人工島をご紹介します。

### 見直される、 昭和のくらしの知恵を

南久が原2丁目にある「昭和のくらし博物館」を訪ね、館長の小泉和子さんにお話をお聞きました。

### 今年もまた、珍獣出没!

突然に現れた珍獣。今年も狸が出ました

### 地域ネットワーク 今更なる

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

### 投稿コーナー ちよつとい話

読者の皆さまと編集部がつくく企画。暮らしの中のちよつとい話をお聞かせ下さい。

### 大田区の町工場が 舞台になった!

直木賞受賞作「下町ロケット」



小学生1000円、中学生以上2000円 □定員:抽選で30名 □申込:11月24日(木)必着

■日本そば打ち講習会 ～新そばを使って交流を図ろう!!～

日本の食文化である日本そば打ちを、体験して交流を図る。好評企画。

□開催日時:12月11日(日)10:00～14:00 □会場:3階調理室 □対象:中学生以上 □参加費:1000円 □定員:抽選で30名 □申込:11月29日(火)必着

■口の健康は歯磨きだけじゃ守れない!

歯科衛生士に教わる、季節野菜の食育簡単クッキング、冬野菜版。子どもの歯と心の健康維持を果たす食育の役割を学ぶ。お口の体操で表情筋を鍛え、美容にも。保育有(事前申込制)。

□開催日時:2012年1月14日(日)10:00～12:00 □会場:3階調理室 □対象:子どもの健康に関心のある方ならどなたでも。 □参加費:500円 □定員:抽選で30名

□申込:2011年12月19日(月)必着

■ハーブせっけんづくり講習会 ～肌に優しいハーブせっけん作りにチャレンジ!～

ハーブを使って、肌に優しいせっけんづくりにチャレンジ。ハーブの特性などのお話を取り入れて、オリジナルな形のせっけん作りを楽しむ。保育有(事前申込制)

□開催日時:1月22日(日)13:00～15:00 □会場:3階工芸室 □対象:小学生以上 □参加費:小学生500円、中学生以上1000円 □定員:抽選で30名 □申込:1月10日(火)必着

■救急救命救護講習会

いざという時のために、文化の森にも設置されているAEDの使い方、蘇生の仕方などを救急隊員から学ぶ。一般向け資格証明書も発行。救急車が着くまでに、少しでも行動を起こせば助かる命もある。受講料は一般の半額。

□開催日時:1月29日(日)13:30～16:30 □会場:4階第三・四集会室 □対象:中学生以上 □参加費:800円 □定員:抽選で50名 □申込:1月13日(金)必着

■びりりん ～電気人間～

冬季身近に感じる静電気について、発生する原因を探り、様々な材料を使用して実験する親子講座。

□開催日時:1月28日(日)9:30～11:30 □会場:3階美術室 □対象:小学生の親子(未就学児の同伴可) □参加費:1組300円 □定員:抽選で15組 □申込:1月16日(月)必着

申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 4階大田文化の森運営協議会

電話:03-3772-0770 / FAX:03-3772-0704

ホームページ: <http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■往復はがきに「講座名」・氏名・年齢(学年)・住所・電話番号・「情報誌」を明記(はがき1枚に1講座、原則1名/組まで)。

■保育対象は満6ヶ月以上の未就学児。希望者は企画申込時に上記に加え「保育希望」・対象児の氏名・月齢も明記。1人1回500円。

■特記のない場合は未就学児の同伴はご遠慮ください。

■事前販売のチケットは全自由席、原則大田文化の森1階総合受付で販売。

募集してま〜す!

文化プレーヤー(ボランティア)募集

の実施にあたって企画・立案、サポート、さらに講師・出演者としての登録や写真・ビデオ撮影など文化活動を支える良き仲間を募っています。この文化プレーヤー(ボランティア)のプレーヤーという言葉には「楽しむ、表現する、演じる」という意味が込められていますが、ご希望される方は文化の森4階運営協議会事務局までお問い合わせください。

■受付時間:月～金曜 9:00～18:00

■電話:03-3772-0770 FAX:03-3772-0704

■住所:〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田区の町工場が舞台、直木賞受賞作「下町ロケット」です。



大田区在住の外国人の方から見た大田区の魅力を語ってもらいました。



文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレーヤー」の活動の案内です。

文化の森イベントスケジュール



今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。暮らしの中の「ちょっといい話」(300字以内)を掲載いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-3772-0704、メールの場合は、[info@ota-bunkanomori.jp](mailto:info@ota-bunkanomori.jp)まで。

誌面でのご紹介は姓名(ペンネームでも結構)町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

編集後記

編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770

FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.41Web版

2011年10月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 池田敏夫

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:[info@ota-bunkanomori.jp](mailto:info@ota-bunkanomori.jp)

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

# 秋号 おおた文化の森

## おおた文化の森カタログ 文化の森ってどんなところ?何をやっているの?

### Q1. なんのための施設?

大田区が2001年11月3日に開設した区民の文化活動支援のための中心施設です。大田区10ヵ年基本計画『おおた未来プラン10年』では「区民の自主的な文化活動の拠点として、区民が集い、参加し、交流することを目的として旧大田区役所跡地に建設された施設」と書かれています。

大田文化の森は区民が学び、演じ、交流を行う文化創造の拠点として中心的な役割を果たします。施設の管理運営にあたっては、より利用しやすく、親しみのもてる施設を目指しています

### Q2. どんな施設なの?

ホール(定員259人)、集会棟(5階建)、広場(185m<sup>2</sup>)から成り、2階には情報館、地下には有料駐車場(33台)があります。

### Q3. 運営・管理はどうしているの?

事業運営は、大田区から委嘱された区民による運営協議会(事務室4階)が行っています。事業には、①任意登録の文化プレーヤーによって実施する「実行委員会企画」と、②区報・情報誌等で公募した区民によって実施する「公募企画」、③「運営協議会の自主企画」の3種類があります。

施設管理は(財)大田区文化振興協会(情報館・貸館の運営を含む)が行っています。詳しくは利用案内をご覧ください。

### Q4. どんな利用ができるの?

#### ●企画の実施

- 1.文化プレーヤーに登録して実行委員会または文化プレーヤー事業部に参画する
- 2.「公募による事業」に応募する
- 3.運営協議会が行う自主事業に参画する

#### ●ボランティアとして参画

文化プレーヤーに登録して希望のボランティア活動をする。

#### ●貸館を利用する

[うぐいすネット\(コンピュータを活用した登録制の申込システム\)](#)を利用するか、うぐいすネットが設置されている大田区の集会施設窓口で申込む。(詳しくは利用案内をご覧ください。)



ちょっとここでコーヒーブレイク

飲み物・軽食をご用意して皆様のご来店をお待ちしています。

営業時間 10:00～17:00

定休日 隔週月曜・全館休館日

## 巻頭特集

### 2011文化の収穫祭 ～元気・笑顔で秋の祭典!～ 11月13日(日)開催

11月13日(日)、お待ちかねの文化の収穫祭が開催です。日頃の成果を存分に発揮していただき、盛り上げていきましょう。

### ～話題作、光る笑福亭鶴瓶の弱々しい演技～ 文化の森シネマ館「ディア・ドクター」 10月28日(金)午後7時に上映

2009年度の映画賞で、ブルーリボン賞の3冠をはじめ全14冠を獲得した話題の映画『ディア・ドクター』が10月28日(金)午後7時から文化の森のホールで上映されます。

## 読み応えのあるコラムが自慢

### 大田区の島めぐり、 4コースを歩く。

大田区には4つの島があります。平和島、昭和島、京浜島、そして城南島。東京湾に面した4つの人工島をご紹介します。

### 見直される、 昭和のくらしの知恵を

南久が原2丁目にある「昭和のくらし博物館」を訪ね、館長の小泉和子さんにお話をお聞きしました。

### 今年もまた、珍獣出没!

突然に現れた珍獣。今年も狸が出ました

### 地域ネットワーク つながり

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

### 投稿コーナー ちよつとい話

読者の皆さまと編集部がつくく企画。暮らしの中のちよつとい話をお聞かせ下さい。

### 大田区の町工場が 舞台になった!

直木賞受賞作「下町ロケット」

## 大田区役所 大田文化の森運営...

日本, 〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

保存

[拡大地図を表示](#)



[Googleマップで大きな地図を見る](#)



404. That's an error.

The requested URL /maps/sv was not found on this server. That's all

[Googleマップで大きな地図を見る](#)

バスの場合、どの駅から乗っても「大田文化の森」停留所で下車、徒歩1分

■東急池上線池上駅より

東急バス上池上循環 大井町駅行き、品川駅行き、大森駅行きに乗車

■JR大森駅(西口)より

東急バス上池上循環 池上駅行き、蒲田駅行き、洗足池行きに乗車

■JR蒲田駅(西口)

東急バス大井駅行き 荏原町駅入り口行きに乗車

連絡先

■大田文化の森運営協議会事務局

〒143-0024 大田区中央2-10-1

電話: 03-3772-0770/FAX: 03-3772-0704

大田区の町工場が舞台、直木賞受賞作「下町ロケット」です。



大田区在住の外国人の方から見た大田区の魅力を語っていただきました。



文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレイヤー」の活動の案内です。

## 文化の森イベントスケジュール



今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

## 文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

## 皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部と一緒に作る誌面です。暮らしの中の「ちょっとした話」(300字以内)を掲載いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-3772-0704、メールの場合は、[info@ota-bunkanomori.jp](mailto:info@ota-bunkanomori.jp)まで。

誌面でのご紹介は姓名(ペンネームでも結構)町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

## 編集後記

## 編集後記

## 申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770

FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号

(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.41Web版

2011年10月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 池田敏夫

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:[info@ota-bunkanomori.jp](mailto:info@ota-bunkanomori.jp)

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

# 秋号 おおた文化の森

Home

## 編集後記

◆今年のキーワードになった「節電」。夏には扇風機が大ヒットしましたが、今冬に向けて早くも石油ストーブ商戦が異例の早さで増産態勢に入るなどして、保温肌着もすでに残暑を待たずに店頭に並ぶという手際よさ？ 不便な生活を強いられるのはつらいことではありますが、豊かさだけを求めてきた人々にとっては暮らしを見直すチャンスかも知れません。「昭和のくらし博物館」の館長・小泉和子さんのお話(3頁)はいかがでしょう。

◆国民栄誉賞に輝いた、なでしこジャパンの皆さんが見せてくれた女性の力強さは今年の十大ニュースに入る話題でしょうが、最近“どぼじょ”(女性土木技術士)の活躍を耳にしたことはありませんか。重機を使ってがれき撤去作業が進む被災地の最前線で監督を務める女性の姿もそのひとり。十数年前と比べて倍増の1300人強もいるとか。草食系などと言われている男性陣も力の見せどころ、ですぞ！

◆なんだか変だぞ、自然現象が。世界各地のニュースを見聞きしている方々の中にはそう思われている人もいるはず。人知を超える自然の猛威があちこちで報道され、動物の行動すらおかしくなるのでしょうか。こちら大田区では土地開発の巻き添えに遭った狸やハクビシンが出没！ という情報があちこちで。証拠写真(3頁)に収めたところで、書いていただきました。今秋もまた出たという話ですが、あなたの近辺はいかがですか。

運営委員(編集長) 池田 敏夫

過去の編集後記はバックナンバーからご覧下さい。

## 巻頭特集

### 2011文化の収穫祭 ～元気・笑顔で秋の祭典!～ 11月13日(日)開催

11月13日(日)、お待ちかねの文化の収穫祭が開催です。日頃の成果を存分に発揮していただき、盛り上げていきましょう。

### ～話題作、光る笑福亭鶴瓶の弱々しい演技～ 文化の森シネマ館「ディア・ドクター」 10月28日(金)午後7時に上映

2009年度の映画賞で、ブルーリボン賞の3冠をはじめ全14冠を獲得した話題の映画『ディア・ドクター』が10月28日(金)午後7時から文化の森のホールで上映されます。

## 読み応えのあるコラムが自慢

### 大田区の島めぐり、 4コースを歩く。

大田区には4つの島があります。平和島、昭和島、京浜島、そして城南島。東京湾に面した4つの人工島をご紹介します。

### 見直される、 昭和のくらしの知恵を

南久が原2丁目にある「昭和のくらし博物館」を訪ね、館長の小泉和子さんにお話をお聞きました。

### 今年もまた、珍獣出没!

突然に現れた珍獣。今年も狸が出ました

### 地域ネットワーク つながり

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

### 投稿コーナー ちよつとい話 みなさまの投稿、お待ちしております

読者の皆さまと編集部がつくく企画。暮らしの中のちよつとい話をお聞かせ下さい。

### 大田区の町工場が 舞台になった!

直木賞受賞作「下町ロケット」

大田区の町工場が舞台、直木賞受賞作「下町ロケット」です。



大田区在住の外国人の方から見た大田区の魅力を語っていただきました。



文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレイヤー」の活動の案内です。

## 文化の森イベントスケジュール



今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

### 文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

## 皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。暮らしの中の「ちょっとした話」(300字以内)を掲載いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-3772-0704、メールの場合は、[info@ota-bunkanomori.jp](mailto:info@ota-bunkanomori.jp)まで。

誌面でのご紹介は姓名(ペンネームでも結構)町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

## 編集後記

### 編集後記

## 申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1  
大田文化の森運営協議会まで  
電話: 03-3772-0770  
FAX: 03-3772-0704

■ 往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.41Web版  
2011年10月1日発行  
発行 大田文化の森運営協議会  
編集人 池田敏夫

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:[info@ota-bunkanomori.jp](mailto:info@ota-bunkanomori.jp)

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。